

## ケーブル末端のプレハブ化、省力に大きな効果

ゴムまたはプラスチックケーブルは、在来の紙巻絶縁ケーブルに代わって、広範囲に使用されつつあり、最近では66～110kVなど高電圧ケーブルも作られている。特にわが国では大都市における架空配電が限界に達し、高圧ケーブルの地中配線が普及されるようになり、プラスチックケーブルも永久用に使われることが顕著になった。そこで、現場での作業性、接続や末端処理が大きな問題となっていた。

今までプラスチックケーブルの末端部の処理は、テープ巻やモールド作業など高度の技術と修練が必要とされ、多くの労力と時間を要するうえ、一度処理すると末端部全体が一体化するため、次に故障などがおきても解体補修できない悩みがあった。

本発明は、短時間に容易に現地作業ができるよう、また電気特性にばらつきのないよう、末端部の必要な部品をプレハブ化し、簡単に組み立てられるようにしたもので、外部の套管（とうかん）でおおったケーブルヘッドの基本形を開発したものである。本発明は、ケーブル末端処理作業の省力化に絶大な効果をもたらしている。

写真は、プラスチック絶縁66kVケーブルの末端部の実際を示したものであるが、その内部を概略説明すると、ケーブル末端はエポキシなど硬質絶縁物でできたハウジングと、これにコイルばねで押しつけられた軟質絶縁補強体へ貫通し、磁器製の套管の中に支持固定され、この間に絶縁コンパウンドが注入充填（じゅうてん）されている。

このようにプレハブ部品化し、簡単な組立作業で、電氣的に安定した末端処理ができ、大きな省力効果があるのが本発明の特色である。

ケーブル末端部 特公昭46-32636号

### 特集に関するその他の関連特許

高低差大なる場所における単心OFケーブルの接続方法

特許第577778号

応急ケーブル布設方法

特許第541679号

ケーブル折返し部収納溝形成方法

特許第470030号

応急ケーブルの布設方法および布設装置

特許第511837号

移動用ケーブルの巻き付け方法

特許第539235号

パイプ形ケーブルの輸送用コアにおける固定末端部

実用新案第881309号

パイプ形ケーブル用ブーリングアイ

実用新案第854249号

圧力型ケーブル終端部

実用新案第946226号

油入ケーブル終端部

実用新案第755772号

ケーブルドラム取扱機

実用新案第779765号

日立製作所ではすべての所有特許権を適正な価格で皆さまにご利用いただいております。

ご希望の場合は下記までご連絡ください。

問合先：日立製作所本社特許部

電話：東京(03)270-2111(大代)

住所：東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビル)〒100

